

(令和2年1月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水産物全般	<p>1月の総入荷量は、鮮魚、加工水産物が入荷が減少したことから前年同月比で4%下回った。総取扱金額は、水産物全般で需要が低迷したことから前年同月比で4%下回った。</p> <p>2月は、ホタルイカの入荷が始まる。主に兵庫県や富山県から入荷があり、「春の風物詩」として大変人気である。ビタミンAを豊富に含み免疫力強化が期待される。ボイルされたものを酢味噌で食べるのが一般的だが、炊き込み御飯にしてもおいしくいただける。是非、旬の季節に御賞味いただきたい。</p>
鮮 魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で4%下回ったが、単価は鮮魚全般で需要が低迷したことから前年同月並みとなった。</p> <p>品目別には、きはだ、ふぐの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。養殖まだいの入荷量は前年同月を下回ったが、単価は需要が低迷したことから前年同月並みとなった。</p>
冷 凍 魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月並みとなったが、単価は冷さけ、冷えびなどで需要が低迷したことから8%下回った。</p> <p>品目別には、冷さけの入荷量は前年同月を下回ったが、単価は、単価の安い冷銀さけ主体の入荷となったことから下回った。冷えびの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>
加 工 水 産 物	<p>加工水産物が入荷量は前年同月比で5%下回ったが、単価は塩さけの需要の低迷や、ちりめんの良品物が少なかったことから前年同月並みとなった。</p> <p>品目別には、塩さけの入荷量は前年同月を下回ったが、単価は需要が低迷したことから下回った。ちりめん、塩さばの入荷量は前年同月並みとなったが、単価は良品が少なかったことから下回った。</p>

※鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚)	
ま あ じ	三重，長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で35%上回り，単価は16%下回った。
ま い わ し	千葉で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で12%下回り，単価は27%上回った。
さ ば	千葉で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で38%下回り，単価は14%上回った。
す る め い か	富山で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で33%上回り，単価は15%下回った。
太 物	総入荷量は前年同月比で6%下回り，単価は12%上回った。
よ こ わ	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で26%下回ったが，単価は中小型物主体の入荷となったことから前年同月並みとなった。
ぶ り	鹿児島，愛媛，長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で7%下回ったが，単価は養殖物で大型物の入荷が少なかったことから7%下回った。

※太物：まぐろ，きはだ，めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は3%上回った。
冷するめいか	入荷量は前年同月比で63%下回り、単価は49%上回った。
(加工水産物)	
塩 さ け	入荷量は前年同月比で3%下回ったが、単価は需要が低迷したことから13%下回った。
すけそうこ	入荷量は前年同月比で16%上回り、単価は5%下回った。